

八尾市立小・中学校適正規模等審議会 第13回会議 会議録

開催年月日	平成22年6月29日（火）	
開催時間	午後7時00分	
開催場所	八尾市役所本館6階 大会議室	
出席委員	木下 会長 大野 副会長 加仲 委員 鈴木 委員 武田 委員 野村 委員	三藤 委員 長原 委員 文屋 委員 岡 委員 根屋 委員
出席職員	中原教育長 岡村教育次長兼学校教育部長 浦上教育推進担当部長 奥田教育委員会事務局理事 森田学校教育部次長 万代学校教育部次長 西崎総務人事課長 網中教育政策課長 橋本学校教育部次長兼施設管理課長	田中学務給食課長 轟原指導課長 浅野教育サポートセンター所長 岩下人権教育課長 瀧瀬教育政策課長補佐 植田教育政策課長補佐 生田教育政策課係長
傍聴者	1人	
議事案件	「八尾市立小・中学校適正規模等審議会 答申」について	

【会長】 ただ今より八尾市立小・中学校適正規模等審議会 第13回会議を開催します。本日は、1人の委員から欠席の連絡がありましたが、定足数に足りていますので、審議会は成立しています。はじめに、本日配付されています資料について事務局より確認願います。

【事務局】 資料確認。

【会長】 資料について質問等はありませんか。

【全委員】 質疑なし。

【会長】 それでは、本日配付されている答申（案）について、私から説明いたします。本日お示ししています答申（案）は、市民意見を募集した際の答申（案）に修正を加えたものです。まずは、修正した箇所のみ説明しますので、よろしく願います。

まず、1ページの「はじめに」では、最後の2行に取消線が入っていますが、これは19ページの「おわりに」の文章と重なる部分がありますので、削除しています。

次に、2ページと3ページの児童生徒数、学級数等の推移では、それぞれの数字について、平成22年5月1日現在の数字に改めています。

次に、8ページの「教育コミュニティ」の注釈について、前回の答申（案）では16ページに掲載してあったのですが、「教育コミュニティ」という言葉が初めて出てくるのがこのページですので、注釈をこのページに移しています。したがって、16ページの注釈は削除しています。

次に、19ページでは、「おわりに」として文章を新たに加えています。

次に、資料について説明します。はじめに資料1では、八尾市立小・中学校適正規模等審議会の規則を新たに掲載しています。

次に、資料3では、審議会の委員名簿を新たに掲載しています。

次に、資料4では、審議会の検討経過を新たに掲載しています。

次に、資料5～資料8では、児童生徒数・学級数等の推移について、平成22年5月1日現在の数字に改めています。

最後に、資料9では、関係法令等を新たに掲載しています。

それでは、ただ今の説明につきまして、何か質問や意見はありませんか。

【全委員】 意見なし。

【会 長】 それでは、審議に入りたいと思いますが、答申（案）の1ページから18ページにつきまして、前回の審議会において「修正なし」と確認しましたので、本日は、19ページの「おわりに」と新たに追加した資料について意見交換したいと思います。はじめに、「おわりに」の文章についてお願いします。

【全委員】 意見なし。

【会 長】 それでは、ご意見がないようですので、「おわりに」については「修正なし」とします。次に、資料についてご意見等はありませんか。

【副会長】 資料3の「委員名簿」について、備考欄に旧委員のお名前が載っていますが、少し収まりが悪いように思います。備考欄にはお務めいただいた期間を明記し、委員名は私たちと同列の氏名欄に書いてはどうかと思います。そうすることで、全ての委員が審議をしてきたということが明確になるのではないかと思います。

【会 長】 旧委員のお名前が備考欄に載っていて、任期が分からない形になっていますので、旧委員の名前を氏名欄に掲載し、それぞれの任期を備考欄に記載するように直したいと思いますが、よろしいでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【会 長】 それでは、そのように修正します。他にありませんか。

【副会長】 資料4の「検討経過」について、第12回会議で答申（案）に対する市民意見について審議しましたが、市民意見を募集することを第11回会議で確認しましたので、第11回会議の検討内容にそういう文言を追加してはどうかと思います。

【会 長】 第11回会議のところに「市民意見を募集することを確認した」という主旨の文言を入れてはどうかというご意見ですが、いかがですか。

【委 員】 募集した期間を明記してはどうでしょうか。順序としてはより正確でいいのではないかと思います。

【会 長】 それでは、第11回会議のところに募集期間を含めて市民意見の募集について掲載したいと思いますが、よろしいでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【会 長】 他にありませんか。

【全委員】 意見なし。

【会 長】 他に意見がないようですので、資料3の「委員名簿」と資料4の「検討経過」の2点について修正を加えたものを最終答申としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【会 長】 それでは、これをもって審議会としての最終答申としたいと思います。

さて、本来ならば、これで本日の会議は終了ですが、ここで、委員の皆様これまでの審議会を振り返っていただいて、感想や意見等を一言ずつ発言いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。それでは、副会長からお願いします。

【副会長】 何よりもまず、本日の審議をもって最終的に答申をまとめることができたことをうれしく思います。非常に難儀な課題だったと思いますが、審議を振り返って、印象に残っていることがあります。それは審議会の議論が活発であ

ったことです。単に活気よく意見が出されたというだけではなく、それぞれの委員が検討に値する視点をもってご発言され、会議を活性化されたところがあつたと思います。

そして、子どもの最善の利益を優先する、子どもの育ちにとってより良い教育環境をつくるという視点を出して議論できたことが私としては大変良かったと思います。また、学校規模の定義づけを行えたことも重要であつたと思います。

今後は、教育委員会において具体的な取組みが行われていくわけですが、審議会において審議した数々の方策を参考にしながら、学校規模等の適正化を実施する上での留意点に十分留意していただけるようお願いしたいと思います。

私自身、至らない点が多くあり大変恐縮ですが、木下会長をはじめ、委員の皆様にも色々とお話をいただいたことを含めて感謝を申し上げて、私の発言としたいと思います。長い間、ありがとうございました。

【委員】 この会議に出て、大変勉強になりました。教育の面や今の学校の環境など、全然知らなかったことが今、頭の中にいっぱい入っています。これから何かのことで、これが役に立つように頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

【委員】 古いことを言うようですが、10数年前の審議会と比べて、市民感情や市民の考え方、それに対する反応など、今回は市民があまり騒いでいないし、そういう声も耳に入っていないように思います。ということは、子どもを持たない親が無関心だということに他ならないのではないかと思います。また、これは私個人の考え方ですが、大多数の市民は学校のことはもう卒業しているので、知らんという考え方を持っているのではないかと思います。その点は今後、市の施策として考えていただきたいと思います。

それから、この答申を受けて教育委員会がこれから施策を練られるでしょうが、新しい小・中学校の規模を確定するまでにどのぐらいかかるのか、いつ頃を想定しているのかを最後に聞かせていただきたいと思います。

【会長】 質問については、後程一括して答えていただくことにしたいと思います。

【委員】 私の思いとしては、子どもたちにとってより良い教育環境であってほしいというのが切実な思いです。一番下の娘が中学校に入学しましたが、八尾市に住む子どもがより良い環境で教育を受けられるようにしていただければ幸いです。よろしくお願ひします。長い間、本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。

【委員】 振り返ってみて、ここまでくることができて良かったと思う一方で、良い方法はないのだと思いました。時間をかけて審議すれば何か答えが出るのでは

ないかと思いながら、自分の力のなさを感じました。

しかし、現に子どもたちは学校に通っていますので、より良い環境をつくれるようにどうしたらいいかを我々も協議しなければなりませんし、行政にもお願いしたいと思います。皆様、本当にご苦労さまでした。ありがとうございました。

【委員】 今回、すごく勉強をさせていただきました。普段お会いすることのない方々とお会いして、お話も色々聞かせていただいて、本当に貴重な経験をさせていただいたと思っています。こういう会議で検討されたり、色々なところで努力していただいたりと、皆さん一生懸命努力されているということがすごく分かりました。今回の会議も、これがいい方向に向かえば素晴らしいことだと思います。またこの会議に参加できたことを本当にうれしく思います。貴重な経験をさせていただいて、ありがとうございました。

【委員】 私は、今までいろんなことを考える上で、独善的に考えていた部分があったのですが、改めていろんな視点でものを見ることを学ばせていただいて、非常にいい勉強になりました。

現在、八尾市の総合計画を検討しているようですが、この審議会でも総合計画のことを参考として報告していただければ、論議が実りあるものになったのではないかと思います。いろんな計画と関係のあることですから、それぞれが唯我独尊ではなく、相互にいい知恵を借りながら、いいプランができることを願っております。ありがとうございました。

【委員】 この審議会の各会議を思い起こすと、とても内容が深かったり、「なぜ伝わらないのだろう」と色々考えるきっかけになったりしました。本当にいろんな方が参加されていますので、いろんな角度で話が聞けたり、話し合いができたりして、私もとても勉強になりました。

話を聞きながら、やはり「教育」と言っても、そこに人がいて、まちがあって、まちづくりの議論なのだということがとても印象的で、人の話とまちの話は切っても切り離せないというのが、今思っていることです。

校区をどうしようかというのは、なかなか難しいことだと思いますが、やはり最後に思うのは、一刻も早く志紀小学校を何とかしてほしいと本当に切実に思います。審議を始めてからもう2年ぐらい経っているわけですが、おそらく状況は変わっていないだろうと思うと、審議も大事ですが、一方で、目の前の課題にしっかり取り組んでいただいて、子どもの教育のために、審議だけでなく行動としてきちんと教育環境を整備することが大事だと思いますので、ぜひ、志紀小学校の子どもたちの教育の機会均等を守ってあげてください。よろしく願います。

【委員】 この審議会では、中長期の八尾市の小・中学校がどうあるべきかについて検

討され、大変難しい問題を真正面から検討されまして、委員の皆さん、それから事務局も、大変ご苦労さまでした。

ハード面の問題を主に討議したわけですが、教育は大きくても小さくても中身だというご意見は各委員からも出ました。我々はよく「教育は人なり」という言い方をしますが、子どもたちに向き合っている教職員がどれだけ頑張れる条件をつくることができるのかが八尾の教育の要だと思います。私は、八尾の教職員はよく頑張っていると思っていますし、優れたところはたくさんあると思います。そこを教育委員会は十分に支えていただいて、助けていただくように、またそれを更に進めていただくように、お願いしたいと思います。

【委員】 私は、今年の4月に市原校長から委員を引き継ぎました。引き継ぎに当たって膨大な資料をいただきましたので、その資料をしっかりと読んで審議会に参加しましたが、何分、2回の会議だけで、発言することなく終わってしまうのが少し残念に思っていますが、貴重な経験をさせていただき感謝しています。ありがとうございました。

【会長】 最後に私から一言、お礼申し上げたいと思います。平成20年11月に第1回の会議を開催してから1年半と少しにわたって審議していただき、本日、答申をまとめることができたことを大変喜んでおります。慣れない会長役で、皆さんに助けていただきながらまとめることができて本当にありがたいと思っています。

審議では、ハード面の審議に加えて、現在抱えている教育問題について日頃お考えのこと、あるいはそれぞれの立場で子どもの教育に関わっておられるご意見を多数お出しいただきました。その意味では、むしろ答申の文字にならなかった部分が、審議会の非常に大きな財産であったのではないかと考えています。

教育は社会と共に動いていきますので、学校教育は常に課題を抱えています。それは学校教育だけではなく、教育というものの本質です。だから、絶えず課題と向き合いながら、いろんな形で問題を解決していかなければならないと思っています。委員の皆様方から具体的に、日頃携わっておられるお話を聞かせていただいて、多くのことを具体的に勉強させていただきました。

今後は、答申を受けて教育委員会で具体的な方策をお考えいただくこととなります。子どもたちに対して最善の教育環境を整えたいというのがこの審議会の最大の願いでありますし、それは教育委員会も日頃からお考えのことだろうと思いますので、答申を尊重しながら、子どもはもちろん保護者の方々、地域の皆さん方等の理解と協力を得ながら、ここで議論されたことを踏まえて計画的に取組みを進めていただくようお願いいたします。最後になりますが、委員の皆様、長期にわたってありがとうございました。

それでは、先程の質問について、事務局からお願いします。

【事務局】 教育委員会として方策はいつ頃を想定しているのかとのご質問ですが、現時点でいつ頃かと申し上げるのは、なかなか難しいところです。しかしながら、教育委員会としましては、答申をもとに基本方針を取りまとめていきたいと考えており、子どもの最善の利益という視点を踏まえながら取組みを進めてまいりたいと考えています。

【会 長】 それでは、次に教育委員会から挨拶の申し出がありますので、受けたいと思います。

【教育長】 教育長の中原でございます。本日が最後の会議ということで、教育委員会を代表しまして、一言お礼申し上げたいと思います。

平成20年11月の第1回審議会以降、委員の皆様方にはお忙しい中、また夜という非常に出不くい時間帯でしたが、13回の審議を重ねていただきまして、本当にありがとうございました。

私が新任として八尾市の中学校に赴任した頃は、子どもの急増期で、ずっと増加していました。当時は、学校を建てていくことが主な課題になっていました。今は、少子化の中で、学校規模等の適正化が大きな課題になってきました。各市におきましてもこの課題について議論が始まっているところがございます。今後、子どもたちのより良い教育環境をどう整備していけばいいのだろうかということを議論していきたいと思っております。今までの13回の会議録に目を通して、私どもも様々なことを考えていかなければならないと改めて考えたところでございます。

今回、本市にとっても学校規模等の適正化の審議を行っていただくのは初めてでございましたので、今後、答申に基づきまして、教育委員会の基本方針を策定してまいりたいと考えています。審議いただいた中身を私どもが実際の形としてどう作り上げていくのかについては、皆様方が子どもたちのことを大事に考えていただいて、議論していただいた重みを十分に受け止めながら進めてまいりたいと思っております。

これから、学校規模等の適正化の対象校におきましては、保護者や地域住民の方々、対象校の関係者の方々の意見を承りながら具体的な取組みを進めてまいりたいと考えています。

委員の皆様方には今後とも教育委員会、また市の行政につきまして、ご支援、ご理解を賜りますようお願いいたします。最後になりましたが、皆様方の益々のご活躍とご健勝をお祈りいたしまして、簡単ではございますが、教育委員会からの挨拶といたします。本当に長い間、ありがとうございました。

【会 長】 事務局から他に連絡はありませんか。

【事務局】 今後の予定についてご説明いたします。審議会から教育委員会への答申の手交につきましては、7月16日（金）に行いたいと考えております。なお、当

日は審議会を代表して、木下会長に手交をお願いしたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

【会 長】 事務局から説明がありましたように、7月16日に私から教育委員会に答申を手渡したいと思いますが、よろしいですか。

【全委員】 異議なし。

【会 長】 それでは、そのようにさせていただきます。他にありませんか。

【事務局】 次に、委員の皆様の任期につきましては、7月16日に答申を行っていただくことになりましたので、皆様の委員委嘱も7月16日をもって任期が満了となりますので、よろしくお願いいたします。

【会 長】 任期満了まで今しばらくございますので、よろしくお願いいたします。この際、ご意見はありませんか。

【全委員】 意見なし。

【会 長】 ないようですので、これをもちまして、八尾市立小・中学校適正規模等審議会 第13回会議を終わります。本当にありがとうございました。